

香港株式市場フラッシュ

香港市場が IPO で世界首位に返り咲いた要因

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2025年8月6日号(8月6日作成)

”香港市場が IPO で世界首位に返り咲き“

香港の IPO (新規株式公開) 市場が堅調に推移している。1-6 月の資金調達額は 1000 億 HKD (約 1 兆 8000 億円) を超え、上半期で世界首位に返り咲いた。車載電池最大手の寧徳時代新能源科技 [CATL] (3750 香港) による中国本土との重複 (セカンダリー) 上場も後押しした。

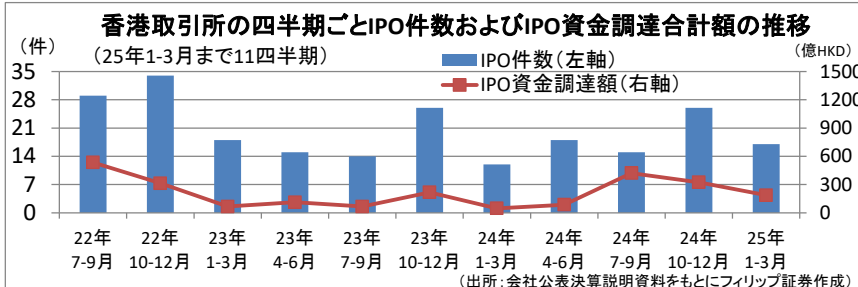
2024 年以降の大型 IPO では、24 年 6 月に、QuantumPharm (2228 香港) が「専門的テクノロジー企業」(STC) 向け特別上場枠「チャプター18C」により約 9.9 億 HKD を調達した。同年 9 月に中国大手家電メーカーの美的集団 [Midea Group] (0300 香港) が重複上場により約 346 億 HKD を調達。同年 10 月には中国飲料大手の華潤飲料 [China Resources Beverage] (2460 香港) が約 50 億 HKD を調達したほか、自動運転分野の AI (人工知能) 企業である地平線機器人 [Horizon Robotics] (9660 香港) が「チャプター18C」により IPO で約 54 億 HKD を調達した。

2025 年になると、1 月には、中国の人気バブルティ (台湾発祥でミルクティータピオカを加えたもの) チェーンの蜜雪氷城 [Mixue Group] (2097 香港) が約 34.4 億 HKD を調達。3 月には、中国の金鉱山企業の赤峰吉隆黄金 [Chifeng Jilong Gold Mining] (6693 香港) が約 28 億 HKD を調達したのに続き、中国のアルミニウム製造企業の南山鋁業 [Nanshan Aluminium International Holdings] (2610 香港) が約 23 億 HKD を調達した。5 月には寧徳時代新能源科技 [CATL] が約 390 億 HKD と、IPO による超大型の資金調達を達成した。中国発の衣料品ネット通販大手の SHEIN (シーイン) も年内の香港上場観測が浮上している。

“香港 IPO 復活の鍵となった「チャプター18C」と「FINI」”

「チャプター18C」は香港取引所 (388 香港) が 23 年 3 月に導入した上場ルール。従来のメインボード上場ルール「チャプター8」の収益や利益要件を満たせない、成長段階のハイテク企業上場を促進することを目的とした制度であり、5 つの最先端産業分野 (次世代情報技術、先端ハードウェア・ソフトウェア、先端材料、新エネルギー・環境保護、新食品・農業技術) で高い成長ポテンシャルを持つ企業を対象とする。18 年 4 月にバイオテクノロジー企業の上場を可能にした「チャプター18A」の成功を基に、バイオテック以外のテクノロジー企業にも同様の枠組みが広がられた。

香港取引所は 23 年 11 月、IPO の決済プロセスをデジタル化し迅速化するためのウェブ・プラットフォーム「FINI (Fast Interface for New Issuance)」を導入。従来の IPO 決済期間「T (公開価格決定日) + 5」を「T+2」に短縮し、市場の変動リスクや投資家の資金拘束期間を軽減。香港の資本市場の競争力向上に寄与している。



香港取引所 (0388 香港) の1-3月期の主要営業指標および主要セグメント別営業収益

項目	25年 1-3月期	24年 1-3月期	前年同期比 増減率
デリバティブ市場・1日平均売買枚数(千枚)	1866	1500	+24%
LME市場・1日当たり平均売買枚数(千枚)	698	659	+6%
ストックコネク			
中国本土向け(北行き)取引金額(10億HKD)	204.8	144.8	+41%
香港向け(南行き)取引金額(10億ドル)	109.9	31.0	+255%
営業セグメント別・純収益(百万HKD)			
現物株式	3300	1881	+75%
有価証券デリバティブ	1718	1572	+9%
コモディティ	746	673	+11%
データ・コネクティビティ	546	523	+4%
その他会社項目	547	552	-1%

(出所: 香港取引所の決算資料をもとにフィリップ証券作成)

ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄 (全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20250722 基準日: 20250805

順位	2024年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	中国生物製薬 [シノ・バイオファーマシューティカル]	135.5	1
2	金蝶国際軟件集団 [キングディー・ソフトウェア]	117.9	6
3	石薬集団 (CPSC Pharmaceutical Group)	111.9	5
4	Hansoh Pharmaceutical Group Co Ltd	110.8	2
5	華虹半導体 [ファホン・セミコンダクター]	100.4	8
6	周大福珠寶集團 [チャウタイフックジュエリーグループ]	99.7	3
7	中国宏橋集團 [チャイ・ホンチャオ・グループ]	94.1	4
8	Kuaishou Technology (快手)	91.4	7
9	無錫藥明康德新薬開発 [ウーシー・アプテック]	85.9	11
10	藥明生物技術 [ウーシー・バイオリジクス・ケイマン]	81.4	13

順位	2024年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
96	ニュー・オリエンタル・エデュケーション・アンド・テクノロジー	-26.2	96
95	Meituan (美团)	-19.0	93
94	比亞迪電子 (国際) [BYDエレクトロニクス]	-14.1	95
93	ASMP	-9.6	94
92	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	-9.0	91
91	Haidilao International Holdi (海底撈)	-7.7	87
90	申洲國際集團控股 [シェンジョウインターナショナルG]	-7.2	83
89	国業控股 [シノファーム・グループ]	-6.6	88
88	JDドットコム	-6.4	81
87	創科実業 [テクトロニック・インダストリーズ]	-5.6	89

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2025年8月: 中国主要経済指標】

- 7月27日(日)
 - ・1-6月工業利益<前年同月比>: 前回▲1.1%、結果▲1.8%
- 7月31日(木)
 - ・7月製造業購買担当者景気指数 (PMI): 前回49.7、結果49.3
 - ・7月非製造業購買担当者景気指数 (PMI): 前回50.5、結果50.1
- 8月1日(金)
 - ・7月 (S&Pグローバル) 製造業PMI: 前回50.4、結果49.5
- 8月5日(火)
 - ・7月 (S&Pグローバル) サービス部門PMI: 前回50.6、結果52.6
- 8月7日(木)
 - ・7月外貨準備高: 前回3.317兆USD
 - ・7月貿易収支: 前回+1147億USD
 - ・7月輸出<前年同月比>: 前回+5.8%
 - ・7月輸入<前年同月比>: 前回+1.1%
- 8月9日(土)
 - ・7月消費者物価指数 (CPI) <前年同月比>: 前回+0.1%
 - ・7月生産者物価指数 (PPI) <前年同月比>: 前回▲3.6%
- 8月9日(土)-15日(金)
 - ・7月資金調達総額: 前回22.83兆元
 - ・7月新規人民元建て融資: 前回12.92兆元
 - ・7月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+8.3%
- 8月11日(月)-18日(月)
 - ・7月対外直接投資<前年同月比>: 前回▲15.2%
- 8月15日(金)
 - ・7月小売売上高<前年同月比>: 前回+4.8%
 - ・7月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+6.8%
 - ・1-7月不動産投資<前年同期比>: 前回▲11.2%
 - ・1-7月固定資産投資<前年同期比>: 前回+2.8%
 - ・7月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲5.2%
 - ・7月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.27%
 - ・7月調査失業率<前年同月比>: 前回5.0%
- 8月20日(水)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.00%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.50%

出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、当レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。